

## 「千葉県高齢者保健福祉計画策定・推進協議会」の委員からの意見への回答

## 1 データについて

	委員意見	委員	回答	担当課
1	「高齢者の現状と見込み」は千葉県のデータか	寺口	千葉県のデータである。千葉県のデータであることが分かるよう表記を改めた。	高齢者福祉課
2	高齢者と現状と見込みについては、グラフ化されており、今後の推移について把握しやすい	山田 (晃)	—	高齢者福祉課
3	「就労率」を高齢者の現状と見込みへ入れられないか。お困りごとも大事だが、活躍の様子も入れられたらと思う。ボランティア参加等の統計もあれば入れてみてはどうか。	山田 (あ)	計画本体へ、高齢者の社会参加や活躍の様子がわかるデータを掲載することを検討したい。	高齢者福祉課

「千葉県高齢者保健福祉計画策定・推進協議会」の委員からの意見への回答

2 骨子案について

	委員意見	委員	回答	担当課
1	高齢者を取り巻く課題に、「効果的な介護予防の取組」の文言が追加されたこと、基本施策2に「健康寿命の延伸」が追加されたことが、具体的で大変良い	佐藤(キ)	—	高齢者福祉課 健康づくり支援課
2	「高齢者の現状と見込み」及び「高齢者を取り巻く課題」が、国全体の状況の記載に感じる。千葉県の計画策定にあたっては、千葉県の現状と課題を記載が必要ではないか。特に後期高齢者人口の増加率は全国第1位になることが見込まれており、それに向けた対策と現在の施策がわかるように記載されてはどうか	佐藤(紀)	「高齢者の現状と見込み」は千葉県のデータであるので、「千葉県の高齢者の現状と見込み」と表記する。 「高齢者を取り巻く課題」は、全国の状況であるが、千葉県においても共通した事項である。 計画本文には千葉県の具体的な現状と課題を分析したものを記載する方向で検討したい。	高齢者福祉課
3	「基本目標と基本施策等」に小文字で記載のある内容は、次期計画で特に力を入れるものと捉えるのであれば、資料2の課題あるいは、①②③…に記載されている内容が入ると思うが、主な取組(素案)に記載されている項目が入っているのは、何か意図があるか	寺口	小文字で記載されている内容は、施策ごとの取組内容がイメージしやすいよう、参考に記載した。下線が引いてある項目は現計画において、取組を拡充したい部分である。	高齢者福祉課
4	「基本施策II-3」 「ニーズに合った住宅への入居支援」に『生活の』を追加したほうが良い	寺口	資料2の表現に統一した記載に訂正する。	高齢者福祉課
5	地域共生社会の実現が今後の重点課題として捉えている点に賛同したい。今回の計画の中で、高齢者・障害者・児童などすべての分野が協働することを目標としており、地域包括ケアシステムの視野が一段と広がり地域づくりの推進が期待できる	山田(晃)	—	高齢者福祉課
6	【II-5】 「認知症や家族の視点」⇒「認知症の人や家族の視点」と改めはどうか	廣岡	資料2の表現に統一した記載に訂正する。	高齢者福祉課
7	「基本理念と基本的視点」及び「高齢者を取り巻く課題」の文章の中で、「“助け合い”ながら暮らす」という文脈があるが、これを“支え合い”ながら暮らす」というように言い換えてはいいか。地域共生社会の実現を説明する際に厚労省では「支え合う」という表現を多用している。ヘルプよりサポートの方がイメージとして前を向いているのではないか。老人クラブでは、「支え合う」という言葉を用いることが多い。	大藪	千葉県地域福祉支援計画の記載も踏まえ、「支え合う」という表現に改めたい。	高齢者福祉課 健康福祉政策課 障害者福祉推進課 児童家庭課
8	分かりやすく拝見した。赤印字のところは特に重要なポイントで、そのための具体的な活動の推進が求められる。2040年を見据えて、市町村単位で力をつけていく中で、地域包括支援センターの役割はとて大きい。住民への働きかけ、相談役として専門性を持った「職員の十分な人員配置と、ある程度長期の配属で「地域共生社会」実現の地盤を固めていただきたい。地域共生社会は子供から高齢者、心身障害者、生活困窮者など様々な人の共生だから、行政管轄も部、課を超えての総合的な視野を持った人や管轄部署の役割が重要である。	高橋(育)	本計画の策定にあたっては、部局を横断した庁内の42課と連携のもとで検討しているところである。関連部局と「地域共生社会の実現」というビジョンを共有した上で、計画の策定・推進をしてまいりたい。	高齢者福祉課
9	2040年を見据えた4つの「観点」、基本「理念」、4つの基本的「視点」、2つの基本的「目標」、8つの基本「施策」がある。これらのうち「理念」と「目標」については対応が明確だが、それ以外についても対応関係を明示すると、より分かりやすくなる。また、それに合わせて基本施策の順番も地域包括ケア関連の4と6を連続させるなど、基本施策間の関連によって並べ替えると分かりやすくなる	米山	「理念」、「目標」、「施策」については現行計画と同様に評価と紐づけて、対応させる予定だったが、「観点」や「視点」など並列した記載がわかりにくかったかもしれない。 計画本体では、関係が明確になるように記載を検討したい。 基本施策の順番についても、改めて検討したい。	高齢者福祉課
10	「基本理念と基本的視点」について ※の説明書きにある「包摂的な」という表現は、より平易な表現にした方が、地域共生社会をイメージしやすくなるのではないか	米山	県民にとってイメージしやすいよう、表現を検討したい。	高齢者福祉課
11	※の部分の「…役割を持ち助け合い…」は「…役割を持ち、助け合い…」が適切	米山	指摘のとおり修正したい。	高齢者福祉課

「千葉県高齢者保健福祉計画策定・推進協議会」の委員からの意見への回答

2 骨子案について

	委員意見	委員	回答	担当課
12	概ねよろしいと思う。 骨子案が絵に描いた餅にならないよう、基本目標Ⅱのトップに地域共生社会の実現を謳って意識づけされている。 特に今回のような感染症による事態を考えると、災害時と同様緊急時への支援は、常に想定して準備していくことが大切であると痛感している	高橋 (仁)	—	高齢者福祉課
13	地域共生社会という言葉の「共生」という言葉に少し違和感を感じる。趣旨は理解できるが、一般的に「共生」という言葉は異なる種族に対して用いられる言葉である。健康者も障がいを持った方も同じ人間であり、そこに差別があってはならないという原則に反する言葉のように感じる。 また、※の「障害者」は「障がい者」若しくは「障害者」とすべきではないか	稲葉	本計画は福祉総合計画である「千葉県地域福祉支援計画」の個別計画となっており、「地域共生社会」の考え方についても、同計画から引用している。 「障害者」という単語の表記は、本計画と連携する他の計画の表記と統一した記載にしたい。	高齢者福祉課 障害者福祉推進課 健康福祉政策課
14	疑問に感じた点は、今年度の新型コロナウイルスの影響により、来年度以降、予想される社会的な変化に対応する視点が、盛り込まれているかどうかという点である。特に、新型コロナの影響により、医療・介護従事者の離職率の上昇、コロナの余波による経営難から事業所やNPO等の閉鎖などが想定され、介護人材不足はさらに深刻化し、喫緊の課題となるのではないかと。また、介護予防や生きがいづくり、社会参加などの活動や通いの場を、地域で支える団体や機関への影響なども想定し、長期化するであろう新型コロナ対応やその影響を乗り切るための、新しい視点を計画骨子の内容にも盛り込んでいただけたらと考える。	赤木	新しい視点については、計画本文の記載において検討していきたい。	高齢者福祉課
15	国の基本指針案に基づき、基本目標Ⅱのサブタイトルで「地域共生社会の実現のための地域包括ケアの推進」と掲げている。この点については、今後の計画の中身で地域共生社会と地域包括ケアの関係性をわかりやすく整理することが求められると思う	早川	地域共生社会と地域包括ケアの関係性について、計画本文の記載において整理していきたい。	高齢者福祉課
16	基本目標Ⅱの基本施策1の各項目を推進することで「安全・安心な地域づくり」にはつながると思うが、これらを推進することのみで「地域共生社会の実現」につながるものではないと思われる。しかし、計画の構成が基本施策1だけで達成しようとしているように見えてしまう	早川	指摘のとおり、「地域共生社会の実現」は基本目標Ⅱの1～6の施策を通して達成することを目指している。基本施策の表記については検討したい。	高齢者福祉課
17	市町村の立場として地域共生社会を掲げることで心配していることがある。高齢・介護部門では、これまで「地域包括ケアの推進」を主路線としてきたが、「地域共生社会」に"引きずられて"、「地域包括ケア」が十分推進されていないにもかかわらず、「地域共生社会」に乗り換えてしまうことである。高齢・介護部門では「地域包括ケアの推進」を継続し、その中で子育て包括支援等の他分野との協働を考えていくことが大事であることを計画の中で示していく必要があると考える	早川	「地域共生社会」については、国の動向も注視しながら、計画本文において記載していきたい。	高齢者福祉課
18	現行計画の基本目標Ⅱの基本施策1にある②「地域の特性に応じた体制づくりを進める市町村への支援」について、次期計画では基本施策1の「地域共生社会の実現」又は基本施策6の「地域包括ケアシステムの推進」で引き継ごうとしているのか明らかではないが、いずれの場合も、市町村にとっては、自身の地域特性を把握・分析し、地域づくり・人づくりの視点で進められている。 この現行の②が掲げる「地域の特性に応じた体制づくり」を県として支援するというスタンスは、しかるべき個所に残していただきたい。(タイトルではなく、中身に反映する程度で可)	早川	計画本文の記載において検討していきたい。	高齢者福祉課
19	「策定の趣旨」へ「地域共生社会」という単語を入れてはどうか。 例えば「～2040年を見据えて、地域共生社会の中で、介護予防、健康づくりの推進、～」	山田 (あ)	計画本文の記載において今後検討していきたい。	高齢者福祉課
20	「基本理念と基本的視点」にある地域共生社会の注釈へ「外国出身者」も入れてはどうか	山田 (あ)	「地域共生社会」の定義は福祉総合計画である「千葉県地域福祉支援計画」や、連携する他計画と統一した記載となるよう検討していきたい。	健康福祉政策課 健康福祉指導課 高齢者福祉課

「千葉県高齢者保健福祉計画策定・推進協議会」の委員からの意見への回答

2 骨子案について

	委員意見	委員	回答	担当課
21	基本目標Ⅰが「予防」、Ⅱが「介護」がテーマとなった構成だが、Ⅱ-1は「共生（支え合い）」なので、構造がおかしい。地域包括ケアの深化による共生（誰もが）の元に、健康増進、まちづくり、支える人/仕組みづくり、支える人を支える仕組みづくり、（時間の流れの中での）支え合い、のように	山田（あ）	基本目標については、Ⅰが高齢者個人の目標、Ⅱが地域社会の目標、という整理をしている。施策の順序については、文言・内容の整理を行いながら検討していきたい。	高齢者福祉課
22	基本目標Ⅱの基本施策1と6は関連付けるような構成にすべきではないか。	山田（あ）	施策の順序については、文言・内容の整理を行いながら検討していきたい。	高齢者福祉課

「千葉県高齢者保健福祉計画策定・推進協議会」の委員からの意見への回答

3 施策体系案について

施策	委員意見	委員	回答	担当課
	高齢者に生きがいづくりとして、「役割を持つて」の文言が加えられたことと、生きがいづくりの支援として、「観光との連携」が追加されたことは、画期的なことと考える	佐藤(キ)	—	高齢者福祉課 観光企画課
	「個性豊かに、健康で生き生きした暮らし」を支える活動は、地域で活動する様々な団体が果たす役割は大きく、コロナ後の活動を後退させないため、組織運営の支援を含め、活動支援が必要だと考える。また、施策2の通いの場の推進を多世代に広く行える工夫が必要だと考える。	赤木	計画本文の記載において検討していきたい。	高齢者福祉課
	「生涯現役社会の実現」は目的か。「理念・目的」を実現のための「具体的施策」という構造が崩れている。「生涯現役社会」という単語が唐突なので、定義を前面に押し出す	山田(あ)	計画本文の記載において検討していきたい。	高齢者福祉課
①	取組に「老人クラブの活動の活性化」とあるが、近年は老人クラブ離れや「老人クラブ」という名称自体に抵抗のある高齢者が増えていると言われている。「高齢者の活動の場の多様化・活性化」などとしてはどうか	佐藤(紀)	「高齢者の活動支援」の取組として「老人クラブ活動の活性化」を記載するものとした。 「高齢者の活動の場の多様化・活性化」についても計画本文記載の参考とした。	高齢者福祉課
①	生涯現役社会に向けた意識の"醸成"⇒"醸成"の言葉が難しいと思う。まだ"意識づけ"のレベルではないか。	高橋(仁)	生涯現役社会に向けた意識の"醸成"については、現計画・前計画においても同様の表現があり、定年延長の流れなど生涯現役社会の意識が進んでいると考える。"醸成"という言葉の使用については、計画本文の記載において検討したい。	高齢者福祉課
②	主な取組に「雇用確保」は必要ではないか。起業・創業できる方は一部の高齢者であり、多くの方は働く場の確保が必要かと思う	寺口	計画本体に雇用確保の観点についても記載してまいりたい	雇用労働課 担い手支援課 経営支援課
②	主な取組欄に「高年齢労働者の労働災害防止対策の推進」を加えてはいかがか？ 参照：「エイジフレンドリーガイドライン」令和2年3月厚労省	渡辺	計画本文の記載において検討していきたい。	雇用労働課
②	主な取組で「起業・創業の推進」となっているが、企業等における定年の延長や定年後の嘱託制度の充実などについても考慮する必要があるのではないか。	稲葉	計画本文の記載において検討していきたい。	雇用労働課

1-1

「千葉県高齢者保健福祉計画策定・推進協議会」の委員からの意見への回答

3 施策体系案について

施策	委員意見	委員	回答	担当課
②	「高齢者の意欲・能力に応じて働き続けることができる環境づくりの推進」としてはどうか。また、取組には「雇用支援」、「事業者へのサポート」を含めることや「一般賃金労働」だけでなく、ボランティア、ファミサポ、シルバー人材センターといった取組も包括的に含めるべきではないか。現在ボランティアの取組がⅡ-1-③にあるが、バラバラなのがおかしい。	山田(あ)	「意欲」については加える方向で検討したい。取組内容については、Ⅰ-1-②は高齢者本人がボランティアとして活動すること、Ⅱ-1-③は、地域づくりの中でボランティアを育成することで差別化している。	高齢者福祉課 県民生活・文化課 雇用労働課
③	「終活への取組」について、終活は各自が自分の意思で行うことで、ここに記載されることに違和感を感じる	廣岡	「終活への取組」は、個人の人生の終い方を整理することで生きがいを持って暮らせるという観点で整理したものである。計画本文において、記載内容や位置づけを検討してまいりたい。	高齢者福祉課 健康福祉政策課
③	「終活への取組」については、現在、施策としての「終活」の内容が一般的に共有されているとはいえ、施策の内容や方向性が不明確である印象を受ける。また、「社会参加・生きがいづくり」との関連もわかりにくいいため、新たな取組の内容を別紙で説明するなど、明確化を図る必要があると考える。	米山	「終活への取組」については、県内の市町村においてエンディングノートの配布などが行われている。計画本文において、記載内容や位置づけを検討してまいりたい。	高齢者福祉課 健康福祉政策課
③	主な取組に「終活の取組」とあるが、具体的に取組んでいただきたい。入院時にリビングウィルを求められることがある。今回の感染症による事態で外出自粛があったが、こうした機会に家族で「延命」について、また「どこで最期を迎えたいか」等話し合うことが大切。家族に伝えておくこと・記録に残しておくことを奨励する時期と考える。	高橋(仁)	計画本文の記載において検討してまいりたい。	高齢者福祉課 健康福祉政策課
③	「終活への取組」が、③「生きがいづくりの支援」に位置付けられているのが違和感を感じた。何か理由があるのか。個人的イメージでは、自立・・・自分らしい生き方に分類されるのではないかと思う。他の置き所としては、基本目標1の基本施策2の②とするか検討して欲しい。	早川	「終活への取組」は、個人の人生の終い方を整理することで生きがいを持って暮らせるという観点で整理したものである。計画本文において、記載内容や位置づけを検討してまいりたい。	高齢者福祉課 健康福祉政策課
-	基本施策2に「健康寿命の延伸」を追加しているが、その後の文中でも「健康な暮らしの実現」と続いており、「健康」がダブっていることから、後段の表現を他に入れ替えられないか。例えば、②で「自立支援」を入れているので、「自立した生活の実現」、「その人らしい生活の実現」としてはどうか	早川	文言について整理し直したい。	高齢者福祉課
-	「健康寿命の延伸」と「健康な暮らしの実現」は意味が重複している。	山田(あ)	文言について整理し直したい。	高齢者福祉課

「千葉県高齢者保健福祉計画策定・推進協議会」の委員からの意見への回答

3 施策体系案について

施策	委員意見	委員	回答	担当課
I - 2	- 取組みに「保健事業と一般介護予防事業の一体的な実施に関する市町村支援」が含まれるべきと考える。	早川	含める方向で検討したい。	高齢者福祉課
	- 相談の場としての薬局の活用してほしい	眞鍋	計画本文の記載において検討していきたい。	薬務課
	② 「通いの場の推進」について、「通いの場を拡充、充実」という言葉にしてはどうか	廣岡	通いの場に関する全般的な事項を行っていく意図で「推進」とした。新設も含め、「拡充・充実」を目指す意図で記載している。	高齢者福祉課
	② 「通いの場の推進」だが、COVID-19の影響が一朝一夕になくなるとは思えない世情のため「新しい生活様式に応じた通いの場の推進」等にしてはどうか。 また、今回のCOVID-19の影響と、それに関するJAGESの情報等から、高齢者に対する情報提供の在り方（特にインターネット等の活用について）を自立支援・介護予防の枠の中に入れ込めたらより良いのではないかと考える。さらに、情報提供の在り方について、目標Ⅱの1のどこかに入れ込めないか。住民の見守り機能としてここは重要かと考える。	田中	計画本文の記載において検討していきたい。	高齢者福祉課
II	- 【基本目標Ⅱ】 地域包括ケアシステム構築への理解やそのための人材の確保、定着を行うためには、2040年へ向けて、次世代の人材獲得が大切だと考える。施策1の市民活動・ボランティアの普及啓発、振興や、施策4の人材の養成に、子どもや若い世代への働きかけを行うことや、施策5認知症への理解の普及・啓発を多世代に広く行う工夫が必要。	赤木	計画本文の記載において検討していきたい。	高齢者福祉課
①	① 「地域包括ケアシステムに関する普及啓発」は具体的に何を普及啓発するのがわかりにくい。自助・互助の醸成を意味しているか	佐藤（紀）	地域包括ケアシステムの周知・理解を図るとともに、次期計画では自助・互助も含め、個人の行動を促すような発信をしていきたい。	高齢者福祉課
	① ちばSSKプロジェクトへ薬局も参画してほしい	眞鍋	（一社）千葉県薬剤師会に加盟する薬局のうち、277店舗の登録がある。（令和2年7月1日現在）	高齢者福祉課
	② 「生活支援コーディネーターの養成」とあるが、養成だけでは地域で活躍することはできないのではないかと。養成および活動支援まで含めてはどうか	佐藤（紀）	内容を検討しながら、計画本文において記載していきたい	高齢者福祉課

「千葉県高齢者保健福祉計画策定・推進協議会」の委員からの意見への回答

3 施策体系案について

施策	委員意見	委員	回答	担当課
II-1	② 生活支援コーディネーターについては、すでに配置している市町村が多数と思うが、その活用・活躍に苦慮している状況である。 生活支援コーディネーターと協議体が連携し、地域に助け合いの仕組みや通いの場を構築・推進し、社会資源を増やしていくよう取り組むことが期待されているが、思うような成果が出ていないのが現状である。 養成とともにその活用が今後は重要になると考えますので「生活支援コーディネーターの養成と活用」としてはどうか。	早川	計画本文の記載において検討していきたい。	高齢者福祉課
	⑤ 主な取組に「8050問題」に関する対策を入れてはどうか（例えば、引きこもり地域支援センターの普及・啓発など）	寺口	計画本文の記載において検討していきたい。	高齢者福祉課 障害者福祉推進課
	⑤ 「困難を抱える高齢者への支援」の“困難”を“生活のしづらさ”に変えてはいかがか。 “困難”と“生活のしづらさ”、言葉の主観的な範囲が変わってしまうが	渡辺	指摘のあった意見を参考に検討したい。	高齢者福祉課
	⑤ 「困難を抱える高齢者への支援」については、認知症施策との関係が深い取組が必要であることから、認知症施策についても記載することが望ましい	米山	II-5-⑥「本人やその家族への支援と本人発信支援」において重点的に記載する。	高齢者福祉課
	⑥ 「災害等の緊急時における対応」は高齢者のみのことか。	山田 (あ)	高齢者を含む配慮を要する人に向けた支援が必要だが、本計画は高齢者計画のため、高齢者について重点的に記載したい	防災政策課 高齢者福祉課
	⑥ 「災害等の緊急時における対応」については、昨年の台風や水害被害を踏まえて施設間や要支援者の受入などが必要だと感じた。また、今回の感染症のような緊急事態下における施設対応についても必要ではないか。	藤野	計画本文の記載において検討していきたい。	高齢者福祉課
II-2	① 主な取組へICT、IoTに関する取組を入れること	山田 (あ)	計画本文の記載において検討していきたい。	高齢者福祉課
	① 在宅医療への薬剤師の取組、必要機材等の整備について記載してほしい	眞鍋	計画本文の記載において検討していきたい。	業務課
	② 施策の課題に「多職種連携構築」が記載されているが、主な取組にはどこへリンクしているか。②だとすれば、「医療と介護の地域連携」だけではなく、「医療・介護・保健・生活支援～」などとしてみてはどうか。	山田 (あ)	お見込のとおり②へ対応させている。具体的な記載は計画本文において示していきたい。	高齢者福祉課 健康福祉政策課

「千葉県高齢者保健福祉計画策定・推進協議会」の委員からの意見への回答

3 施策体系案について

施策	委員意見	委員	回答	担当課
	③ 「回復期リハビリ棟等整備事業」は、現状から鑑みて高齢者保健福祉であり、ここが「地域リハ」の中であるならば、「訪問・通所リハビリテーションの充実」とかの方が重要なように思えるがいかがか。	田中	指摘のとおりに表示を修正したい。	医療整備課
II-3	- 外出しやすいまちを、介護予防にもつなげる視点を持ってほしい	山田(あ)	計画本文の記載において検討していきたい。	高齢者福祉課
	- まちづくりの視点において、都市部以外では交通難民が多く見られる現状である。移動困難者の支援についてはより重点課題となってきた。公共交通機関のみでは賅いきれない部分も多く見られている	山田(晃)	計画本文において課題を示していきたい。	交通計画課 健康福祉指導課 高齢者福祉課 政策企画課
	① 住まいの"提供"は県が提供するという趣旨か。居住支援ではダメか。主な取組には住宅確保要配慮者への支援や協議会との連携については記載がないがどうなっているか。	山田(あ)	指摘のとおり"住まいの提供"を"居住支援"に修正する。具体的な支援内容は計画本文において示していきたい。	高齢者福祉課 住宅課
	② 主な取組に「特別養護老人ホーム」と「地域密着型サービス」が並んでいるが、対立概念でないのに、並んでいるのはなぜか。	山田(あ)	県が補助金を交付し、整備を促進しているサービスとして、並列で記載している。	高齢者福祉課
	③ "自立"と"介護"が並んでいるのはなぜか。	山田(あ)	"自立"した生活や、"介護"を受けやすいまちづくりを進める、という趣旨で記載している。	高齢者福祉課 住宅課
- 労働環境（定年後再就職支援、外国人労働者研修体制の整備）を入れることを検討してもらいたい。労働人口が減少する中、「高齢者再就職」か「外国人労働者」へ頼ることになると思うため	菊地	再就職支援については、計画本文の記載において検討していきたい。「外国人労働者」については、記載に加えたい。	健康福祉指導課 雇用労働課	
- 医療・介護人材の確保の視点がより重視されている中で、ハラスメント対策等を打ち出すことで、より働きやすい職場づくりへつなげるだろう	山田(晃)	—	医療整備課 健康福祉指導課	
① 「人材の確保・養成」の主な取組に「外国人介護人材支援センターの運営」または「外国人介護職員の就労の促進」を入れていただきたい。	米山	計画本文において、「外国人介護職」に係る取り組みを記載したい。	健康福祉指導課	
① 介護支援専門員、主任介護支援専門員の「養成」には資質向上に向けての取組の強化も含めていただきたい。	米山	計画本文の記載に加えたい。	高齢者福祉課	
① 外国人材の活用についても記載してほしい	藤野	計画本文の記載に加えたい。	健康福祉指導課	

「千葉県高齢者保健福祉計画策定・推進協議会」の委員からの意見への回答

3 施策体系案について

施策	委員意見	委員	回答	担当課
②	「各種研修の実施」とあるが、事業者が研修へ送り出しやすいようにすることも、取組として必要	山田(あ)	計画本文の記載に加えたい。	健康福祉指導課
②	薬剤師とケアマネを結ぶ研修事業を行ってほしい	眞鍋	本年度から、地域で介護支援専門員（ケアマネジャー）を統括する主任介護支援専門員に対し、薬剤師による在宅訪問薬剤業務の有用性、服薬介助、医薬品管理の方法を紹介する研修会を開催する予定である。	高齢者福祉課 薬務課
③	③に「医療勤務環境改善支援センターの運営」とある一方で、①に「福祉人材確保・定着対策の推進」とあり、①～③の整理ができていないように感じる。	山田(あ)	指摘のとおり、「確保」と「定着」を分けて記載したい。	健康福祉指導課
③	県立保健医療大学の大学院設置による千葉県内のリーダーとなり得るコメディカル（医療専門職）人材の育成という主旨が書かれていると良いかと思う。また、県立保健医療大にST学科の設置に言及いただければと思う。	田中	人材養成のため、計画本文において①で記載ができるか検討していきたい。ST学科の記載については、要望の一つとして受け止めたい。	医療整備課
II-4 ④	「ハラスメント防止の促進」があることは、労働環境として、また介護現場の離職防止を考えるうえでも重要なテーマであり、位置付けられていることに素晴らしいと感じた。「セクハラ」「ソジハラ」等も含めて安心して働ける職場環境づくりは大切だと考える。更に、今後増加していくと思われる「外国人材の処遇」についても、注意が必要になるかもしれない	渡辺	御指摘のとおり本県では、外国人介護職の就業促進をしており、外国人介護職の方が今後増えてくると思われる。 計画の本文には「外国人材の処遇」についても記載することを検討してまいりたい	高齢者福祉課 健康福祉指導課
④	「介護ロボットの導入支援」について、実際にはロボット以前に介護者の身体を守るための移乗用リフトや移乗用福祉用具の整備が千葉県はととても遅れている。これらはロボットよりも余程ハードルが低く安価である。そこで「移乗用福祉用具及び介護ロボットの導入支援」という表現ではいかがか。	田中	福祉用具の整備については、今後の参考としたい。	高齢者福祉課
⑤	「業務仕分け」には「介護現場の文書量削減」も含まれているか。もし含まれていないならば、特出ししてはどうか。	早川	「文書負担の軽減」も含まれている。計画本文の記載に加えたい。	高齢者福祉課 健康福祉指導課
⑤	「ICT導入支援」は介護事業所だけでなく、行政や家庭にも対象を広げるべきではないか	山田(あ)	本項は業務の効率化のためのICT導入支援という趣旨であるため、計画本文の別の箇所記載できるか検討したい	高齢者福祉課

「千葉県高齢者保健福祉計画策定・推進協議会」の委員からの意見への回答

3 施策体系案について

施策	委員意見	委員	回答	担当課
	<p>(現行計画について)</p> <p>①人材の確保・養成と④人材定着の促進等で記載されている「看護師の就学支援」、「医療勤務環境改善支援センターの運営」は医療整備課で実施されている事業か。</p> <p>④・⑤ 医療勤務環境改善支援センターの運営に関しては、「働き方改革関連法」が施行され、労働環境の整備等推進していくことが求められており、また、利用者等によるハラスメントも問題となっている。運営に留まることなく事業の拡大が必要である</p>	寺口	<p>「看護師の就学支援」、「医療勤務環境改善支援センターの運営」は現在医療整備課において実施している。</p> <p>事業への意見については、担当課へ情報提供する。</p>	医療整備課
	<p>① ④ ⑤</p> <p>熟練した介護支援専門員が高齢化し退職していく中、実務研修受講支援の受験者数及び合格者数も少ない状況である。介護支援専門員の人材確保とともに、ケアマネジメント業務遂行におけるペーパーレス化やICTツールの活用などによる業務効率化が推進されるとよいと考える</p>	渡辺	<p>御指摘のとおり、人材確保とともに、介護現場の負担軽減の取組を行うことで、業務効率化を推進したい。</p>	高齢者福祉課 健康福祉指導課
	<p>④ ⑤</p> <p>介護ロボットや、ICTの導入支援などが記載されているが、内容については漠然としてしまっているので、明確に打ち出せないか。</p> <p>特に施設だけでなく、在宅の一人暮らしの方の地域での見守り、ICTや介護ロボットを使った見守りシステムの支援をすれば、施設入所の待機者を減らせる効果があると思っている</p>	藤野	<p>計画本文の記載において検討していきたい。</p>	高齢者福祉課
II-5	<p>-</p> <p>今後の認知症対応力向上研修はどのような形でられるか</p>	眞鍋	<p>認知症対応力向上研修は看護師など専門職ごとに実施しているところであり、かかりつけ医、一般病院、薬局、歯科医院等多くの方が受講している。研修形態は変更ないが、今後は未実施の専門職に受講を促していきたい。</p>	高齢者福祉課
	<p>①</p> <p>「認知症バリアフリー」について、共生ケアを前提とすると、知的障害者や子供、外国出身者へのケアにもつながると思うがどうか。</p>	山田(あ)	<p>御指摘のとおりであるが、本計画は高齢者の施策について重点的に記載したい</p>	高齢者福祉課
	<p>②</p> <p>「認知症チェックリストの作成」とあるが、作るだけか。</p>	山田(あ)	<p>認知症チェックリストについては、既に作成したものを市町村、医療関係機関等で活用いただき、認知症の早期発見と正しい理解の普及促進につなげていきたいと考えており、御意見を踏まえ「認知症チェックリストの普及啓発」としたい。</p>	高齢者福祉課
	<p>③</p> <p>「認知症初期集中チームの資質向上研修の実施」とあるが、これは認知症の“治療”か“対応”を意味するものか</p>	山田(あ)	<p>チームの目的は、認知症発症後の早期段階の人や中期であってもこれまで接触のなかった人などを介護や医療につなげていくことであり、資質向上研修は、知識や対応技術の向上のみならず、地域の中でチームが継続的に機能・役割を発揮するため、効果的な活動力の維持・向上を目的に実施している。</p>	高齢者福祉課

「千葉県高齢者保健福祉計画策定・推進協議会」の委員からの意見への回答

3 施策体系案について

施策	委員意見	委員	回答	担当課
	<p>⑤ 本人とその家族への支援を一緒にしているが、本人への支援と家族への支援は別にしてはどうか。近年、認知症になっても自分らしくやりたいことをしたい、できることを生かして役割を果たす、といった視点が重要とされている。認知症を抱える本人への支援は、地域共生社会の理念で触れられている「支える側」と「支える側」という関係を超えて取り組んでいかなければならないフェーズに入っていると感じる。認知症を取り巻く地域社会のバリアを取り除き、認知症の人本人が発信しやすい社会をつくるという意味で「認知症バリアフリーの推進と本人発信支援」と「認知症を抱える人の家族への支援」と分けてはどうか。</p>	早川	<p>次期計画では、5-①「認知症バリアフリー」は、生活のあらゆる場面で、住み慣れた地域で暮らしていくための障壁を減らすための取組、⑤は、家族を含めた当事者支援という整理をしたものである。 一方、御意見についても今後の検討課題としたい。</p>	高齢者福祉課
II-6	<p>① 「保険者機能強化推進交付金・介護保険者努力支援交付金事業の推進」について、内容に関することになるかもしれないが、これら交付金に位置付けられた項目は、現在、そしてこれからの地域包括ケアシステムの推進について、各保険者がどれくらい取り組んでいるかのチェックシートであり、その状況を県として把握・分析し、取組みが遅れている市町村に対する助言・指導に力を入れるべきである。県内の地域包括ケアシステムの着実な推進を進めるためにはこの事業への県の取組みが重要と考える。項目名称についても「保険者機能強化推進交付金・介護保険者努力支援交付金事業の推進と市町村への支援」としてはどうか。</p>	早川	<p>これらの交付金の活用方法については、お見込のとおりである。項目名称については参考にさせていただきたい</p>	高齢者福祉課
	<p>② 「地域包括支援センターの機能強化」の取組みに「地域ケア会議の運営支援」が置かれているが、多職種が参加した個別事例検討方式の地域ケア会議を積極的に開催することは、自立支援・介護予防に効果的であるばかりではなく、多様な効果をもたらす。地域包括支援センターが「困難事例を抱えたときに年に数回開催している」といった自治体がまだあるとすれば、県内の地域包括ケアシステムの推進を通じた地域づくりは進展していかないと考える。地域ケア会議がもたらす効果は地域包括ケアシステムの推進へ大きく寄与するものと考えことから、さらに一段階発展的なものとすべきであり、従前どおりのタイトルではなく「地域ケア会議のさらなる推進の支援」としてはどうか。</p>	早川	<p>地域ケア会議については、様々な効果があり今後も推進していきたい。発展的な記載とする点は参考にさせていただきたい。</p>	高齢者福祉課
	<p>② 地域包括支援センター機能強化については、「研修」以外にも強化のための取組を位置付けていただきたい。</p>	米山	<p>計画本文の記載において検討していきたい。</p>	高齢者福祉課
	<p>② 主な取組に「多職種連携」も加える必要があるのではないかと。</p>	山田(あ)	<p>地域ケア会議の運営支援が多職種連携支援につながるものと思料しているが、他の記載については計画本文において検討していくこととしたい。</p>	高齢者福祉課

「千葉県高齢者保健福祉計画策定・推進協議会」の委員からの意見への回答

4 その他

	委員意見	委員	回答	担当課
1	新型コロナウイルスの第2波、第3波の襲来に備え、在宅および施設在住高齢者に対する新興・再興感染症への対応策についての言及は必要ではないか。 基本目標Ⅱの基本施策1に独立した項目として新設してもよいかと思う。(日本医師会が都道府県医療計画へ、新興・再興感染症対策を盛り込むことを要望した点も踏まえて)	海村	計画本文の記載において検討していきたい。	健康福祉政策課 高齢者福祉課
2	千葉県ホームヘルパー協議会は、介護職の資質向上に向けて研修を実施している。新型コロナウイルス感染症予防を行いながら、介護予防、重度化防止、自立支援に向けた支援を提供できる介護職が、意欲を持って参加できる研修、少人数、(リモートを含む)を計画し実施していく予定である。	佐藤 (キ)	—	健康福祉指導課 高齢者福祉課
3	次期計画への反映には難しいと思うが、今年から新型コロナウイルス拡大予防に対して、住民の日常生活に対する意識も大きく変わってきている。災害時連携などの意識が高まっていることや、生活通いの場のほとんどが再開の見込みが立っていないなど、生活自体の大きな転換期になっていると感じている。	山田 (晃)	計画本文の記載において検討していきたい。	高齢者福祉課
4	地域包括ケアシステムの推進に向けた新たな取組支援として「保険者機能強化推進交付金」に注目した。地域の力をつけるために、人員の強化が望まれるところだと思う。それには市単位の財政状況が大きく影響し、さらに取組に対しての点数に交付金が反映されるのならば、市単位の取組や財政状態次第で地域力に差ができる懸念はないか。2040年を見据え、ある程度長期的に課題に取り組む段階で、取組状況や財政的な面で格差が出来ないように取組に対する定期的な検証や評価、修正が大切ということか。	高橋 (育)	「保険者機能強化推進交付金」は、保険者の意欲を引き出すことを目的に、各取組の達成状況に応じ交付金を支給するものである。一方で、県は各保険者がどれだけ取組ができていくかを把握し、結果を踏まえ、取組が低調な保険者には個別の支援をしていくこととしている。	高齢者福祉課

「千葉県高齢者保健福祉計画策定・推進協議会」の委員からの意見への回答

4 その他

	委員意見	委員	回答	担当課
5	<p>高齢者の支援に携わる立場として、地域包括ケアの推進に向けた、国、県、市の取組と、それも含めた将来に不安や心配がある。それは日々高齢者に係る事業の財政的な問題と人材不足の課題を抱えているからだと思う。高齢社会の中で介護人材の不足はあまりに深刻で、対策も急務だと思う。</p> <p>高齢者ドライバーによる交通事故問題一つとってもわかることだが、高齢による心身機能の変化について、高齢者を支える世代の理解を一般的に広めることも、また、高齢者自身が理解することも課題かと思う。</p> <p>高齢社会に突き付けられた課題はあまりに大きく、待ったなしの状態、行政、民間の垣根を超えて英知を集約しないと長い道のりを進めないと思う。</p> <p>他の委員の方の御意見を伺い、少しでも現実的な明るい見通しが立てばと思う。</p>	高橋(育)	意見のとおり行政、民間の間の連携が必要と思う。いただいた意見を考慮して、計画本文の記載に加えたい。	高齢者福祉課 交通計画課 健康福祉指導課
6	資料1、資料2の介護保険に係る部分の「見込み」と「推計」では意味が重複するので、どちらかに統一した方がすっきりすると思う	米山	”推計”を削除する方向で検討したい	高齢者福祉課
7	地域で「8050問題」が多く見られるようになってきた。しかし、まだ他機関連携がスムーズにできていないとは言えない状況である。他機関連携を進める研修（ネットワーク構築、人材育成等）が必要だと思う	助川	計画本文において記載を検討したい	高齢者福祉課 健康福祉指導課 障害者福祉推進課
8	地域包括ケアシステムの推進及び地域共生社会の構築のモデル事業等検討してください	助川	地域包括ケアシステムの推進及び地域共生社会の構築は、各市町村が地域の特性や実情に応じて取り組むべきものであるため、県としては統一的なモデルを示すよりは各市町村の取組を個別に支援する方策を検討していきたい。	高齢者福祉課 健康福祉政策課
9	長年福祉・介護の仕事に携わってきたが、日本は高齢化に伴い介護保険制度も20年を超えた。要介護者についてよく報じられるが、元気で時間を持て余している高齢者がいっぱいいる。医療保険料や介護保険料を抑えるためにも元気な高齢者にボランティアとして、介護を必要としている高齢者を支えていただきたいと思う。もし自分が支援を必要となった時のためにもお互い様精神が当たり前になる社会になってほしいと思う。	高橋(仁)	—	高齢者福祉課

「千葉県高齢者保健福祉計画策定・推進協議会」の委員からの意見への回答

4 その他

	委員意見	委員	回答	担当課
10	介護施設の整備については、地域の状況を十分勘案していただきたい。新設の施設では、待機者および人材に苦戦しており、実態調査が必要と思われる。赤字施設が多く、医療福祉機構からの借入返済ができない法人もあり、実態把握が必要だと思います。 地域包括ケアに関しては、肝心のヘルパーさんが、足りなくて実現できない地域があると思われるので、対策を考えていただきたい。	酒井	施設整備については、各市町村が待機者等実情を勘案し検討しており、必要に応じて県が助言を行っているところである。 ヘルパーの人材確保については、計画本文の記載において検討していきたい。	高齢者福祉課 健康福祉指導課
11	今後協議会の委員について、警察関係や経済関係（企業の経営者等）の参画も検討すべきではないか	稲葉	警察関係については、庁内各部署で構成する千葉県高齢者福祉施策推進会議に千葉県警察本部が加わっている。 経済関係の参画については今後検討していきたい。	高齢者福祉課
12	新たな取組が、たくさん検討されていて素晴らしいと思う。これから、地域共生社会の実現に向けた高齢者だけではなく、すべての年代の人が暮らしやすい地域作りが求められると思う。市町村では、地域共生社会は地域福祉計画の記載事項だから、今後介護保険事業計画や他分野の計画と整合性が必要になる。県としては、市町村の支援や、市町村域を超えた広域でのネットワーク作りや人材育成などのバックアップをご検討いただきたい。	助川	指摘のとおり、県庁内の他計画との整合を図りながら、計画本体の記載において検討していきたい。	高齢者福祉課
13	介護予防教室やサークル、認知症サポーター養成講座等、地域住民が集まって行われていたものについては、新型コロナウイルス感染予防のため、大勢が集まらないでも効果的な取組ができるような、新たな方法を検討していく必要があるかと思う。	谷口	今後は、新型コロナウイルスへの対応を踏まえながら地域の活動を実施していく必要があり、県としても必要な支援を検討したい	高齢者福祉課
14	外出自粛の影響から高齢者虐待が増えていると感じる。地域への啓発のほか、虐待発生時に適切に対応できる機関の機能強化を図っていく必要があると感じる。	谷口	関係機関と連携して対応していきたい	高齢者福祉課

「千葉県高齢者保健福祉計画策定・推進協議会」の委員からの意見への回答

4 その他

	委員意見	委員	回答	担当課
15	新型コロナウイルス感染症対策に係る支援に関して、県内NPOを対象に行ったアンケート（5/22～28実施）では、130件の半数近くの団体が減収割合が50%以上だと回答し、団体の規模縮小または存続が危ういと答えている。制度の狭間の高齢者を支えていたり、収益性の高い地域とのセーフティネットとなっている団体も見受けられる。	赤木	地域の高齢者を支える様々な団体の活動は大変重要である。関係課と情報共有していきたい。	県民生活文化課 高齢者福祉課
16	地域共生社会に関する検討会の最終とりまとめでは、理念として「制度・分野の枠や、支える側、支えられる側、という従来の関係を越えて、人と人、人と社会がつながり、ひとりひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら生きていくことのできる、包括的なコミュニティ、地域や社会を創る考え方」としている。地域包括ケアのみならず、地域社会の課題を解決する各支援はいずれも包括化している。子どもの子育て包括支援、困窮者対策の生活困窮者自立支援、障がい者の障がい者自立支援というように。そして包括的支援の資源としては地域住民も含まれている。わたしのイメージでは、これら、高齢・介護、子ども、生活困窮、障害のそれぞれの包括的支援が地域で重層的に機能するようになることを通じ、包括的課題解決能力を持つ地域コミュニティが創られる、それが地域共生社会なのは、と思っている	早川	—	高齢者福祉課
17	要介護認定の適正化の推進の重要性について 給付適正化、要介護・要支援認定者の急増の抑制は、まず、要介護認定の適正化であると考えている。県内の状況は把握できていないが、要介護認定のフローや審査の視点が審査会テキストに基づいて適正に実施されているかどうかをチェックすることが重要である。 要介護・要支援認定の適正化は、給付適正化主要5事業だから、現行計画にも位置付けられているが、従来よりも力を入れるべき。特に、現行の給付適正化事業に基づく市町村自身による自己点検ではなく、外部からのチェックを入れて実施することが肝要である。 要介護・要支援認定の適正化を徹底することで、給付費適正化が進むものと捉えている	早川	今後の計画策定及び取組における参考にしたい。	高齢者福祉課

「千葉県高齢者保健福祉計画策定・推進協議会」の委員からの意見への回答

4 その他

	委員意見	委員	回答	担当課
18	<p>コロナ対策の計画への取込みについて 今後の計画内容の策定で議論すればよいが、新型コロナウイルス感染症対策は、介護現場の重要課題である。現在は、感染状況の改善がみられているが、終息してはいない。現に、県内では介護保険施設・事業所での集団感染があった。 収束までは複数年かかると指摘する学識者もあり、計画に何らか落とし込んでおく必要があると感じている。市町村計画でも数字を入れるかどうかは別として、何らかの介護現場への啓もうや支援を書き込んでいく考えている。</p>	早川	<p>感染症対策に対する体制整備については、国の基本指針（案）に新たに加えられた項目であり、コロナやインフルエンザ等の感染防止策の徹底を図るため、施策に書き込むことを検討したい。</p>	高齢者福祉課 健康福祉指導課
19	<p>高齢になっても働く場や活躍する場が数多くある社会へ、とのメッセージが伝わってきた</p>	山田 (晃)	—	高齢者福祉課